

文学好きの家庭から

芥川龍之介

青空文庫

私の家は代々お奥坊主おくぼうずだったので、父も母もはなはだ特徴のない平凡な人間です。父には一いち中ちゆう節ぶし、囲碁、盆栽、俳句などの道楽がありますが、いずれもものになつていそうもありません。母は津藤つとうの姪めいで、昔の話をたくさん知っています。そのほかに伯母おばが一人いて、それが特に私のめんどうをみてくれました。今でもみてくれています。家うちじゅうで顔がいちばん私に似ているのもこの伯母なら、心もちの上で共通点のいちばん多いのもこの伯母です。伯母がいなかったら、今こんにち日にちのような私ができたかどうかわかりません。文学をやることは、誰だれも全然反対しませんでした。父母をはじめ伯母もかなり文学好きだからです。その代わり実業家になるとか、工学士になるとか言つたらかえつて反対されたかもしれません。

芝居や小説はずいぶん小さい時から見ました。先せんの団だん十じゆう郎ろう、菊きく五ご郎ろう、秀しゆう調ちゆうなぞも覚えています。私をはじめ芝居を見たのは、団十郎が斎藤内蔵之助をやつた時だそうですが、これはよく覚えていません。なんでもこの時は内蔵之助が馬をひいて花道はなみちへかかると、棧敷さしきの後ろで母におぶさつていた私が、うれしがって、大きな声で「ああうまえん」と言つたそうです。二つか三つくらいの時でしょう。小説らしい小説は、泉鏡いずみきやう

花^か氏の「化^ば銀杏^{いちょう}」が始めだったかと思えます。もつともその前に「倭^{やまと}文庫^{ぶんこ}」や「妙^{みょう}々^{よう}車^{ぐるま}」のようなものは卒業していました。これはもう高等小学校へはいつてからです。

青空文庫情報

底本：「羅生門・鼻・芋粥」角川文庫、角川書店

1950（昭和25）年10月20日初版発行

1985（昭和60）年11月10日改版38版発行

入力：j.utyama

校正：かとうかおり

1999年1月12日公開

2004年3月7日修正

青空文庫作成ファイル：

このファイルは、インターネットの図書館、青空文庫 (<http://www.aozora.gr.jp/>) で作られました。入力、校正、制作にあたったのは、ボランティアの皆さんです。

文学好きの家庭から

芥川龍之介

2020年 7月17日 初版

奥 付

発行 青空文庫

URL <http://www.aozora.gr.jp/>

E-Mail info@aozora.gr.jp

作成 青空ヘルパー 赤鬼@BFSU

URL <http://aozora.xisang.top/>

BiliBili <https://space.bilibili.com/10060483>

Special Thanks

青空文庫 威沙

青空文庫を全デバイスで楽しめる青空ヘルパー <http://aohelp.club/>
※この本の作成には文庫本作成ツール『威沙』を使用しています。
<http://tokimi.sylphid.jp/>